

第1学年 年間指導計画(生活 全102時間)

学習の目標	
<p>○具体的な活動や体験を通して自立への基礎を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつ。 ・自分自身や自分の生活について考える。 ・生活上必要な習慣や技能を身に着ける。 	
学習の方法	
<p>○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの具体的な活動や体験を大切にす。</p> <p>○具体的な活動を通して気付いたことを言葉、絵、動作、劇化などの方法によって表現する。</p> <p>その際、児童の気付きが質的に高まるように、見付ける、比べる、たとえるなど多様な学習活動の充実に配慮する。</p>	
学習の評価	
<p>○次の3つの観点にそって、どれだけ達成できたかを絵、ワークシート、活動の様子などにより評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①身近な生き物や環境に親しみ、楽しく体験しようとする。 ②活動や体験を通して見付けたことや気付いたことを工夫して伝えることができる。 ③活動や体験を通して、自分の良さや身近な人々、社会、自然とのかかわりに気付いている。 	
単元名	主な学習内容
1 どきどき わくわく 1ねんせい	学校の施設や先生、友達などかかわることを通して、学校に親しみ、学校生活を送るための習慣や技能を身につけ、登下校のルールなどがあることが分るとともに、これからの学校生活や教科学習などへの意欲をもち、楽しく安心して遊びや生活ができる。
(1) がっこうに いこう	○登下校のときのことを話し合っ、登下校時のあいさつや交通安全上のルールなどの必要性に気付くとともに、毎日の登下校時の、通学路の様子や人々とのかかわりに関心をもつ。
(2) がっこうの ことがしりたいな	○学校の1日のことについて話し合ったり、確かめたりして、小学校には、みんなで楽しく安全に学校生活を送るためのルールや生活習慣があることに気付くとともに、これからの小学校生活への意欲をもつ。
(3) なかよくなりたいな	○みんなで歌ったり、遊具で遊んだり、自己紹介をしたりする活動を通して、クラスメートと友達になるとともに、これからの小学校生活や教科学習への意欲をもつ。
2 がっこう だいすき	友達といっしょに校舎内や校庭を歩いたり、通学路の様子を調べたりして、学校の施設や、学校生活を支えている人々や自分たちの安全を守っている人々のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるとともに、安全な登下校ができる。
(1) みんなで がっこうを あるこう	○先生や上級生に引率されて、校舎内や校庭を歩いて回り、学校の中の施設や自然、人々に興味・関心をもつ。
(2) がっこうを たんけんしよう	○友達といっしょに、自分が興味をもった場所に探検に行き、そこにあるものやその役割について調べたり、働いている人や上級生などに話を聞いたりすることを通して、学校の施設の様子に気付く。
(3) がっこうの ひとと なかよくなろう	○友達といっしょに、学校の人と繰り返しかかわることを通して、学校生活を支えている人々のことが分かる。
(4) こうても たんけんしよう	○校庭で、草花や虫を観察したり、飼育動物とかかわったりして、校庭の動植物と触れ合う楽しさが分かり、校庭の施設の様子に気付く。
(5) みんなで つながるを あるこう	○先生に引率されて学校の周りを歩き、自分たちの通学路の安全を守っている人々や施設に気付く。
3 きれいに さいてね たくさん さいてね	植物を、大切に、継続的に育てることを通して、それらの変化や成長の様子に気付くとともに、それらに親しみをもち、適切に世話を続けることができる。
(1) たねを まこう	○開花への願いをもって自分の育てる植物を決め、たねをまき、これからの世話や成長の様子に関心をもつ。
(2) まいにち せわを しよう	○継続的に植物の世話をす中で、毎日植物の様子を観察し、変化や成長の様子に気付くとともに、変化や成長に合わせて、適切に世話を続ける。
(3) はなを さかせよう	○つぼみや開花など、自分が栽培してきた植物の変化や成長に気付き、その成長を喜ぶとともに、自分の栽培してきた植物に親しみや愛着をもち、大切にす。
(4) たねとりを しよう	○自分が栽培してきた植物のたねを集め、観察し、植物がたねから育って成長し、また同じたねをつけて、生命をつないでいることに気付く。
(5) あきにも そだてよう	○秋になってから栽培できる植物のたねまきや植えつけを行い、開花や収穫への願いをもって、大切に世話を続ける。
4 なつだ いっしょに あそぼうよ	夏の公園や校庭で、友達と遊んだり、動植物、水、土、砂などの自然を利用して工夫して遊んだりして、遊びのおもしろさや自然のふしぎさに気付き、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができるるとともに、公園や校庭がみんなで使うものであることが分かり、安全に気をつけて正しく利用することができる。
(1) みんなの こうえんで あそぼう	○ルールやマナーを守って、公園の遊具や自然物を使って遊び、みんなで遊ぶ楽しさに気付くとともに、公園は、自分たち以外にもいろいろな人が利用するところであることが分かる。
(2) くさばなや むしを さがそう	○諸感覚を使って、草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したり、草花や樹木を使って工夫して遊んだりすることを通して、季節を感じ、夏の動植物の色や形などの特徴などに気付く。
(3) つちや すなで あそぼう	○体全体を使って土や砂に触れたり、土や砂を利用して工夫して遊んだりして、友達と遊びを楽しむ。
(4) みずで あそぼう	○体全体を使って水に触れたり、水を利用して遊ぶおもちゃを工夫してつくったりして、友達と遊びを楽しむ中で、ものが溶けるなどの水の性質のふしぎさやおもしろさ、水で遊ぶ楽しさなどに気付く。

5 いきものとなかよし	身近な生き物を探したり飼ったりして、それらの生息環境や、変化や成長、生き物は生命をもっていることなどに気づき、生き物の立場に立つてすみかや世話の仕方などを考え、生き物への親しみをもち、大切に世話をすることができる。
(1) むしをさがそう	○校庭の草むらなどで虫を探し、それらの生息している場所の特徴に気付くとともに、捕まえた虫を教室で飼育してみたいという思いをもつ。
(2) むしとなかよくなるろう	○捕まえた虫を観察したり、すみかやえさを用意したりする中で、虫の動きや生息環境に気づき、それらを大切に飼う。
(3) どうぶつをかおう	○みんなで動物を飼育したいという思いをもち、友達といっしょに継続的に飼育する中で、動物の変化や成長に気付くとともに、それらが生命をもっていることに気づき、親しみをもつ。
6 たのしさいっぱい あきいっぱい	秋の校庭や公園で、身近な動植物の様子を観察したり、公園に来ている人とかかわったり、秋の草花や樹木、虫などの自然を利用して、工夫して楽しく遊んだりして、遊びのおもしろさや自然のふしぎさに気づき、安全に気をつけて、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができる。
(1) あきをさがそう	○諸感覚を使って初秋の動植物を観察したり、木の実などを集めたり、秋の自然物を使って簡単な遊びを楽しんだりして、夏のころと様子が変わってきていることに気付く。
(2) こうえんで あきをさがそう	○秋の公園で遊んだり、動植物を観察したり、葉や木の実を集めたり、公園に来ている人とかかわったりして、秋になって、自然や人々の生活の様子が変わっていることに気付く。
(3) はっぱや みで あそぼう	○葉や木の実などを集めたり、秋の自然の材料で簡単なおもちゃを工夫してつくったりしてみんなで楽しく遊び、秋の自然を利用した遊びのおもしろさに気付く。
(4) みつけた あきをしょうかいしよう	○見つけた秋の季節の変化や、秋の自然を利用して遊ぶおもしろさについて、作品にまとめて紹介し合うことで、季節に合わせて、自分の生活を工夫して楽しむことができることに気付く。
7 あきのおもちゃだいしゅうごう	秋の校庭や公園で集めた葉や木の実を使って、おもちゃや飾りを工夫してつくったり、遊び方を工夫したりして、秋の遊びのおもしろさや自然のふしぎさに気づき、安全に気をつけて、みんなで遊びを楽しむことができる。
(1) あきのおもちゃをつくろう	○自分たちで集めた葉や木の実などの秋の自然を利用して、工夫しておもちゃや飾りをつくり、秋の自然を利用して遊ぶことのおもしろさや自然のふしぎさに気付く。
(2) みんなであそぼう	○つくったおもちゃで友達に遊んでもらったり、友達と競争したり、飾りをプレゼントしたりする中で、もっと楽しく遊べるように、つくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。
(3) あきのおもちゃでいっしょにあそぼう	○秋のおもちゃで園児と楽しく遊ぶ中で、園児のためにおもちゃや遊びをさらに工夫したり、相手の喜びを実感したりすることで、人とかかわることの楽しさが分かり、自分自身の成長に気付く。
8 みんないっしょに	自分の1日の生活を振り返り、家の人といっしょに仕事や趣味のことをする中で、家の人といっしょにしたり、自分の役割が増えたりすることの喜びを感じるとともに、家の人のことや自分のできるなどが分かり、家庭における自分の役割を積極的に果たし、規則正しく健康に気をつけて生活することができる。
(1) じぶんのいちにちをふりかえろう	○家庭における自分の1日の生活を見直し、規則正しく健康に気をつけて生活する。
(2) いえのひとといっしょにしよう	○家の人や自分がしている仕事や趣味のことを振り返り、その中から、いっしょにできることを考えて、実際に取り組み、家の人といっしょに過ごす楽しさが分かる。
(3) じぶんでできることをしよう	○家の人のために自分でできることを考え、実行する中で、家庭生活が家の人に支えられていることや家庭の中での自分の役割に気付く。
(4) ありがとうをとどけよう	○感謝の気持ちを表した手紙を家の人に渡し、家の人の方に気付くとともに、これからも自分の家庭での役割を積極的に果たそうとする意欲をもつ。
(5) むかしからのあそびをしてみよう	○地域の方に昔からの遊びを教わったり、いっしょに遊んだりする中で、昔からの遊びのよさや楽しさ、地域の方の優しさに気付く。
9 ふゆをたのしもう	冬の校庭や公園で、身近にあるものを使って友達と遊んだり、動植物、風、光、氷などの自然を利用して工夫して遊んだりして、遊びのおもしろさや自然のふしぎさ、季節の変化に気づき、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができるのと同時に、みんなで使う校庭や公園を支えている人々がいることが分かり、それらを安全に正しく使うことができる。
(1) そとであそぼう	○諸感覚を使って、冬の動植物の様子を観察したり、冬の北風や日差しを体全体で感じたりして、冬の自然の様子や変化を実感するとともに、冬の自然現象を利用して、友達と楽しく遊ぶことができる。
(2) かぜであそぼう	○凧や風車、風輪など、風を利用して遊ぶおもちゃを工夫してつくって、友達と楽しく遊び、風によって起こる現象のふしぎさと、風を利用して遊ぶおもしろさに気付く。
(3) ふゆのこうえんにいこう	○冬の公園で遊んだり、公園に来ている人や管理している人とかかわったりする中で、公園はみんなで使う場所であることや、みんなで使う公園を管理している人がいることに気付く。
(4) ゆきやこおりであそぼう	○体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を利用して友達と遊びを楽しんだりして、雪や氷のふしぎさや遊びのおもしろさに気付く。
10 もうすぐ2ねんせい	来年度に入学してくる新しい1年生を迎えるために、自分の1年間の生活やできるようになったことを振り返ったり、新しい1年生とかかわりを深めたりする中で、今の自分との違いを実感し、自分自身の成長に気付くとともに、進級への期待感と意欲をもつことができる。
(1) あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう	○来年度に入学してくる新しい1年生を招待し、小学校のことを教えたり、いっしょに遊んだりしたいという思いをもち、入学してからの1年間のことを振り返り、自分自身の成長に気付く。
(2) あたらしい1ねんせいといっしょにあそぼう	○新しい1年生に、学校のことを教えたり、学校で覚えた遊びでいっしょに遊んだりしてかかわりを深める中で、自分自身と1年生との違いに気づき、小学校に入ってからの自分自身の成長を実感する。
(3) あたらしい1ねんせいをむかえるじゅんびをしよう	○来年度に自分たちの教室を使う新しい1年生のために、自分たちが1年生の間にしてきたことをまとめた作品をつくって教室に飾ったり、1年間お世話になった教室をきれいにしたりすることを通して、自分自身の成長に気付く。
(4) もうすぐ2ねんせい	○友達と、2年生になったら挑戦してみたいことを話し合い、進級への期待感と意欲をもつ。